

## (2) パイロット事業評価調査結果

### (来場者調査)

※M.T. =Multiple Total の略で、回答数の合計を回答者数（N）で割った比率のこと。

1 回答者が 2 以上の回答をすることができる質問では、通常その値は 100%を超える。

※各調査項目の種別において有効回答数が少ない場合は、複数の有効回答数を合算して集計しています。

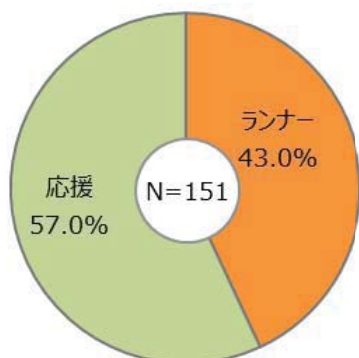
## 第8回呉とびしまマラソン（広島県呉市蒲刈町 県民の浜）

## （1）調査概要

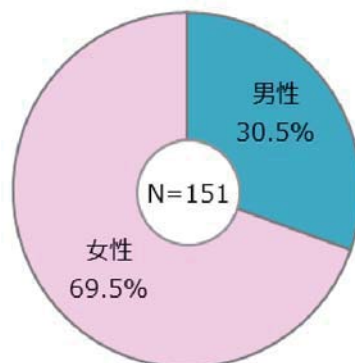
- 調査対象者      パイロット事業の来場者（プログラム参加者）
- ①マラソン大会参加者（ランナー） 18歳以上・男女のうち、ブースに立ち寄った・マラソンコースのパネル（立て看板）を見た人
  - ②マラソン大会参加者（応援者） 18歳以上・男女のうち、ブースに立ち寄った人
- 実施日時      2017年2月26日（日） 8:30～16:00
- 調査手法      専門調査員によるアンケート調査
- ・対象者の自記入式回答法
  - ・北方領土ブースを出てきた人を対象に声掛けを行った
- 回収数      151 サンプル
- 調査項目      ・これまでの北方領土問題認知・理解状況（来場・参加前）
- ・パイロット事業の展開プログラムのなかで参加（接触）したプログラム
  - ・参加プログラム（個別）に対する印象・感想
  - ・参加プログラムの拡散意向
  - ・パイロット事業（参加プログラム全体）の取り組みに対する評価
  - ・北方領土問題のなかで興味・関心を持った内容
  - ・北方領土問題に対する関心度
  - ・プロフィール（性別・年代・居住地）

対象者属性

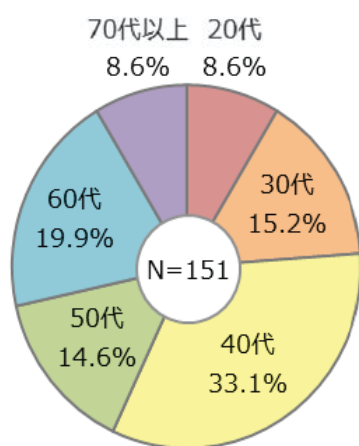
ランナー/応援別



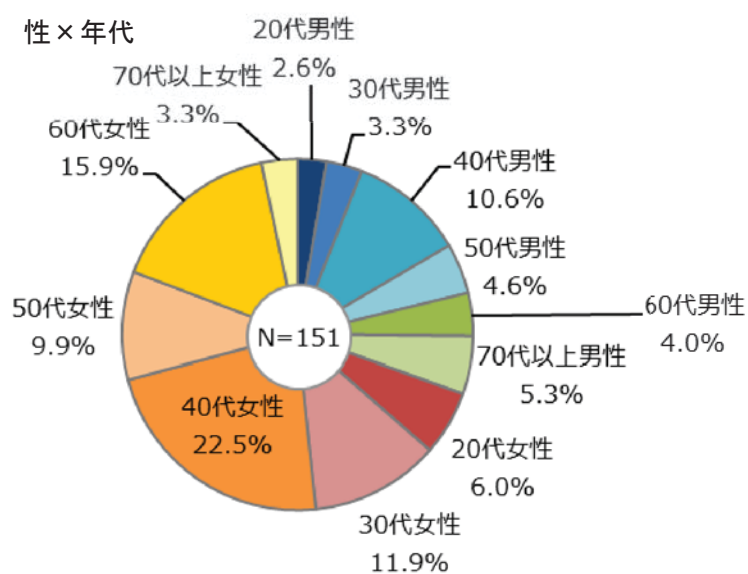
性別



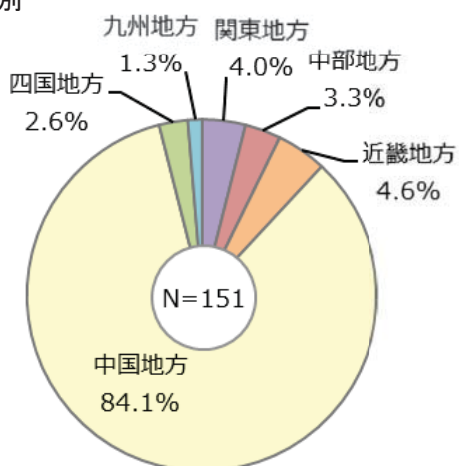
年代



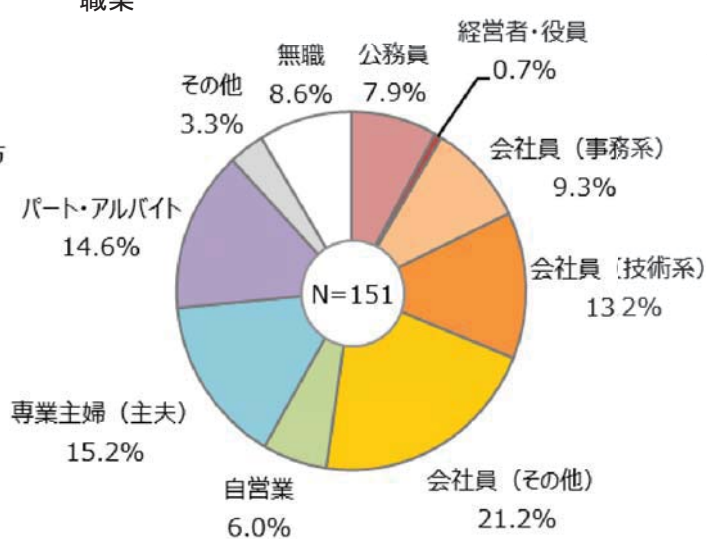
性×年代



地域別



職業



(2) 調査結果

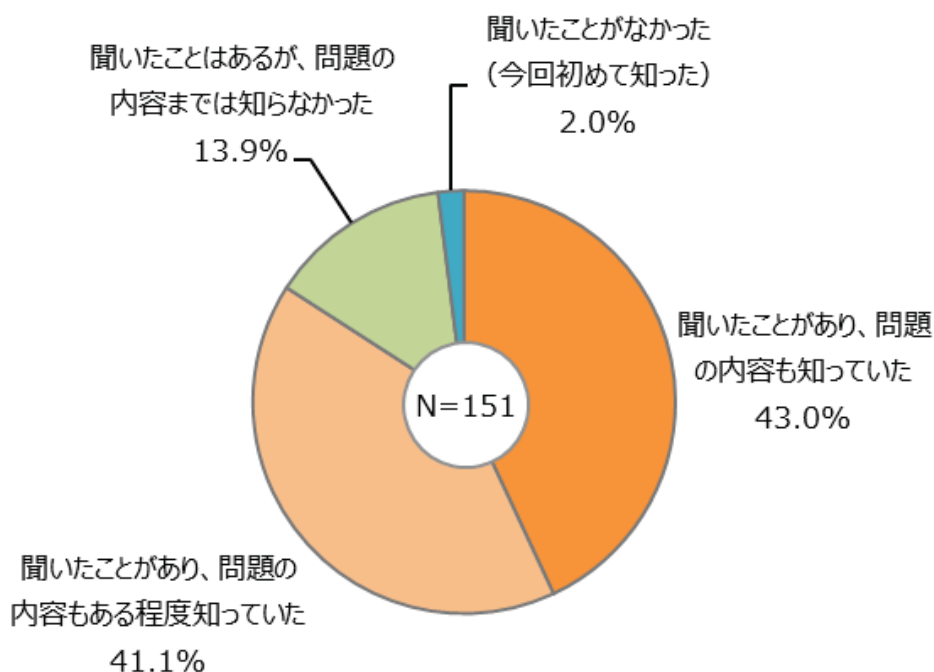
1 北方領土問題が存在することの認知

北方領土問題について、「聞いたことがあり、問題の内容も知っていた」と回答した人は43.0%、「聞いたことがあり、問題の内容もある程度知っていた」と回答した人は41.1%で、8割以上(84.1%)が認知している。

- ・ 男女別で比較すると、女性よりも男性の方で、認知が進んでいる。

Q1. 本日、「北方領土情報ブース」に立ち寄る前のことをお聞きします。

あなたは、日本とロシアの間に「北方領土問題」があることをご存じでしたか。(○は一つだけ)



《詳細結果》

■ 「聞いたことがあり、問題の内容も知っていた」性別比較  
 男性：56.5%/女性：37.1%

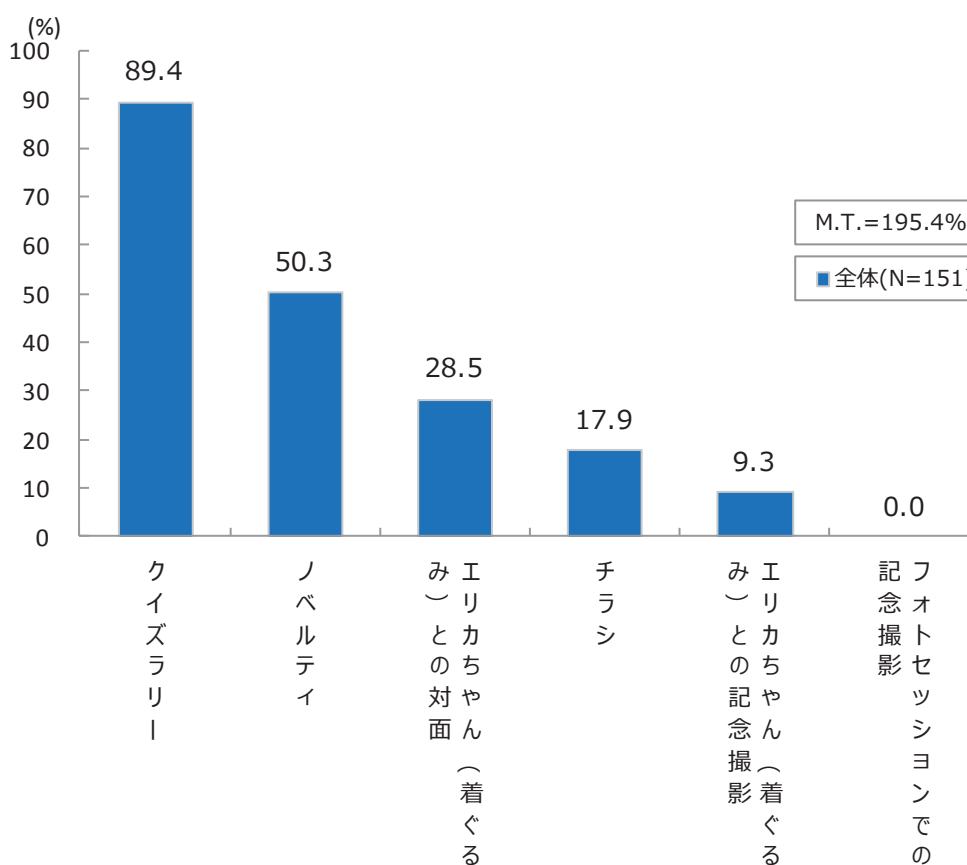
2 「北方領土情報ブース」で参加・接触したものの

「北方領土情報ブース」で参加・接触状況を見ると、「クイズラリー」との接触が89.4%と目立っており、次いで「ノベルティ」(50.3%)、「エリカちゃん(着ぐるみ)との対面」(28.5%)となっている。フォトセッションでの記念撮影は0%という結果だった。

- ・ 年代別で比較すると、20代・30代では、「エリカちゃん(着ぐるみ)との対面」「エリカちゃん(着ぐるみ)との記念撮影」が高くなっている。

Q2. 本日、「北方領土情報ブース」であなたが、参加・接触したものを教えてください。

(〇はいくつでも)



《詳細結果》

■ 「エリカちゃん(着ぐるみ)との対面」

20代 : 38.5% / 30代 : 56.5% / 40代 : 28.0% / 50代 : 13.6% / 60代 : 20.0% / 70代以上 : 15.4%

■ 「エリカちゃん(着ぐるみ)との記念撮影」

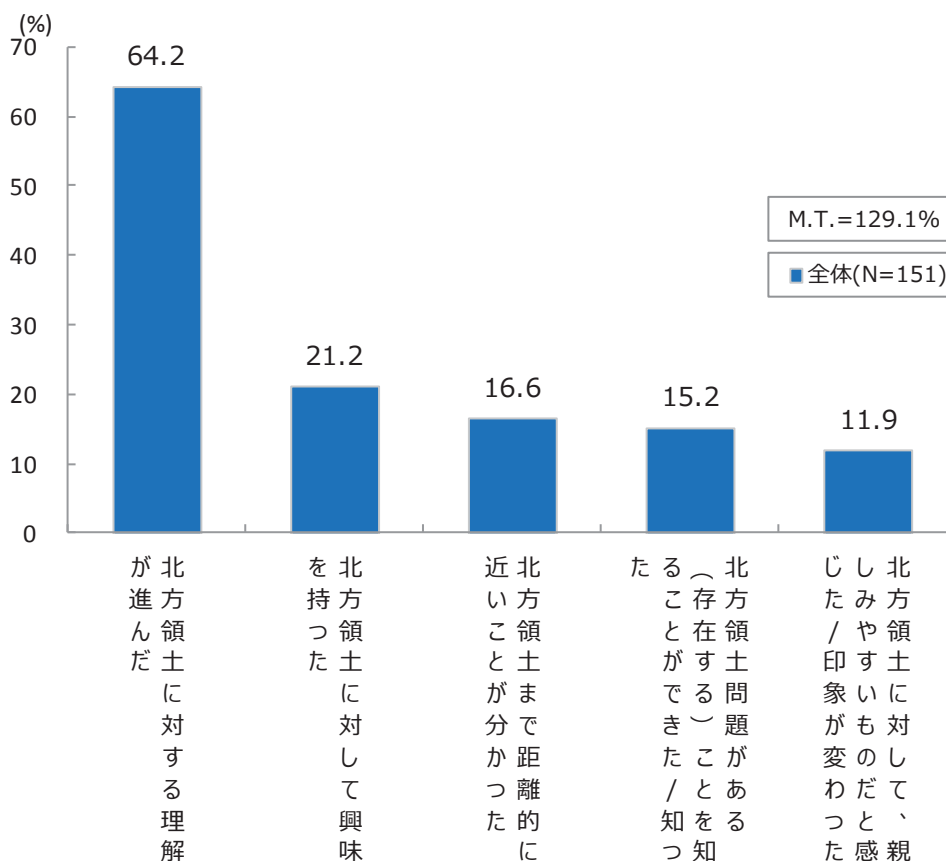
20代 : 30.8% / 30代 : 13.0% / 40代 : 12.0% / 50代 : 4.5% / 60代 : 0.0% / 70代以上 : 0.0%

3 「北方領土情報ブース」に参加した印象

「北方領土情報ブース」に参加した印象では、「北方領土に対する理解が進んだ」(64.2%)との回答が目立っている。次いで「北方領土に対して興味を持った」(21.2%)、「北方領土まで距離的に近いことが分かった」(16.6%)となっている。

- ・ 性別で見ると、女性よりも男性の方で、「北方領土に対する理解が進んだ」との回答が目立っている。
- ・ 「北方領土問題がある(存在する)ことを知ることができた/知った」の項目については、年代別に見ると、30代は4.3%と低い一方で、50代では31.8%と他層と比較しても高い結果となっている。

Q3. 「北方領土情報ブース」であなたが、参加・接触したものに対する印象、感想をお答えください。(〇はいくつでも)



《詳細結果》

■ 「北方領土に対する理解が進んだ」

男性：78.3%/女性：58.1%

■ 「北方領土問題がある(存在する)ことを知ることができた/知った」

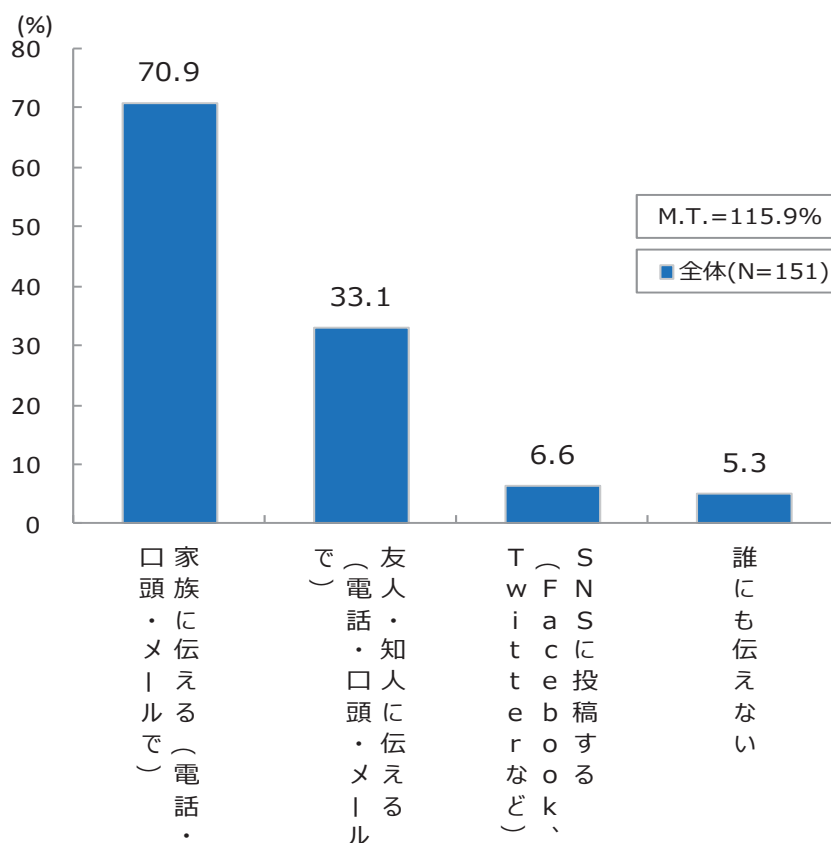
20代：15.4%/30代：4.3%/40代：16.0%/50代：31.8%/60代：10.0%/70代以上：15.4%

4 「北方領土情報ブース」の内容の拡散意向

「北方領土情報ブース」の内容の拡散意向では、「家族に伝える（電話・口頭・メールで）」と回答した人が70.9%と最も高く、次いで「友人・知人に伝える（電話・口頭・メールで）」(33.1%)となっている。一方、「SNSに投稿する（Facebook、Twitterなど）」は6.6%と低い結果となった。

- ・ 20代、30代、60代では、「友人・知人に伝える（電話・口頭・メールで）」が他の年代に比べて高い結果だった。また、20代、30代では、「SNSに投稿する（Facebook、Twitterなど）」も10%以上が拡散手段として活用すると回答した。
- ・ 「家族に伝える（電話・口頭・メールで）」の項目では、年代では50代女性（93.3%）、職業別では専業主婦（主夫）（82.6%）が他層に比べて高い結果だった。

Q4. 「北方領土情報ブース」での取り組み内容や「北方領土情報ブース」で撮影した画像などを今後、ご家族・友人や知り合いの方々に伝えたいと思いますか？（〇はいくつでも）



《詳細結果》

- 「友人・知人に伝える（電話・口頭・メールで）」年代比較  
20代：46.2%/30代：43.5%/40代：24.0%/50代：18.2%/60代：46.7%/70代以上：30.8%
- 「SNSに投稿する（Facebook、Twitterなど）」年代別比較  
20代：15.4%/30代：13.0%/40代：4.0%/50代：9.1%/60代：3.3%/70代以上：0.0%
- 「家族に伝える（電話・口頭・メールで）」性・年代別比較  
全体平均：70.9%/50代女性：93.3%/専業主婦（主夫）：82.6%

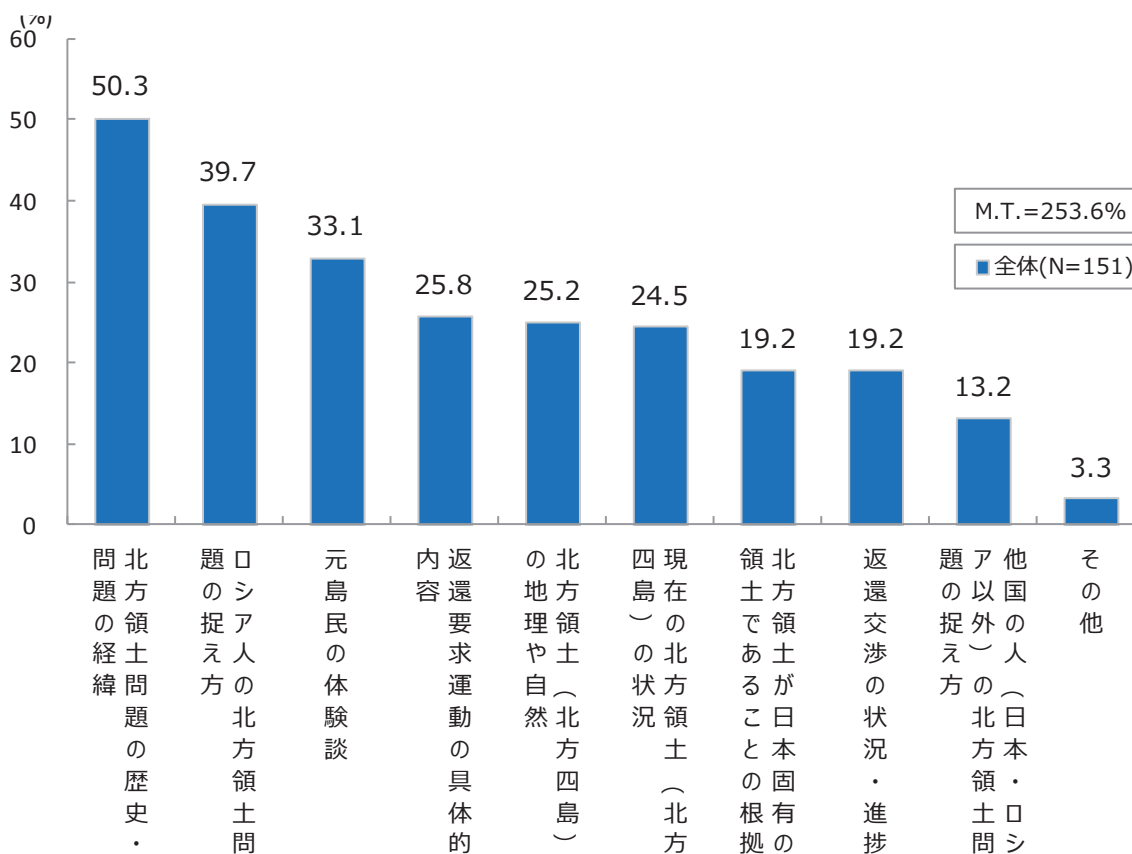
5 北方領土問題の関心内容

北方領土問題の関心内容についてみると、「北方領土問題の歴史・問題の経緯」(50.3%)に対する関心が特に高くなっている。次いで、「ロシア人の北方領土問題の捉え方」(39.7%)、「元島民の体験談」(33.1%)への関心が高い。

- ・ 性別で比較すると男性では「元島民の体験談」に対する関心が高く、女性では、「ロシア人の北方領土問題の捉え方」に対する関心が高くなっている。
- ・ 年代別にみると、若い層ほど、「北方領土の歴史・問題の経緯」に対する関心が高くなっている。

Q5. あなたは、北方領土問題について、更にどのような内容を知りたいと思いましたか。

(〇はいくつでも)



《詳細結果》

■男性(上位3項目)「北方領土問題の歴史・問題の経緯」: 56.5% / 「元島民の体験談」: 43.5% / 「ロシア人の北方領土の捉え方」: 28.3% / 「北方領土(北方四島)の地理や自然」: 28.3%

■女性(上位3項目)「北方領土問題の歴史・問題の経緯」: 47.6% / 「ロシア人の北方領土の捉え方」: 44.8% / 「元島民の体験談」: 28.6%

■「北方領土問題の歴史・問題の経緯」

20代: 61.5% / 30代: 60.9% / 40代: 54.0% / 50代: 54.5% / 60代: 30.0% / 70代以上: 46.2%



6 パイロット事業（参加プログラム全体）の取り組みに対する評価

パイロット事業の取り組みに対して、「分かりやすかった」「勉強になった」「興味をもった」など評価する意見が目立っていた。また、北方領土を「早く返還してほしい」という意見も見られた。

Q6. あなたが今回、「北方領土情報ブース」に接して、どのような印象・感想を持ちましたか。

（ご自由にお書きください）

	N	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
合計	125	10	25	37	16	24	13
分かりやすかった	13	1	2	8	2	0	0
興味をもった	7	2	3	2	0	0	0
勉強になった、知ることが出来てよかった	10	0	2	2	1	4	1
改めて考える機会になった	5	0	1	0	1	2	1
北方領土（問題）について意外と知らない自分に気づいた	7	0	4	3	0	0	0
北方領土（問題）が身近に感じられた	4	1	0	1	2	0	0
北方領土問題に関わる人（政府等）へのエール	7	1	2	1	2	1	0
北方領土問題に関わりたと思った	3	0	0	0	2	1	0
エリカちゃんが可愛かった	2	0	0	1	1	0	0
北方領土問題についてもっとアピールすべきだと思った	7	1	0	1	0	3	2
参加しやすかった	1	0	0	1	0	0	0
良い運動だと思った	5	0	1	3	0	0	1
もっとこのような活動をして欲しい	3	0	1	1	1	0	0
こんなところで北方領土問題のことをやっているとは思わなかった	5	0	1	1	1	1	1
早く返還してほしい	18	3	3	3	0	6	3
早く解決してほしい	4	0	0	1	1	1	1
展示内容についての改善案	1	0	0	1	0	0	0
その他	23	1	5	7	2	5	3

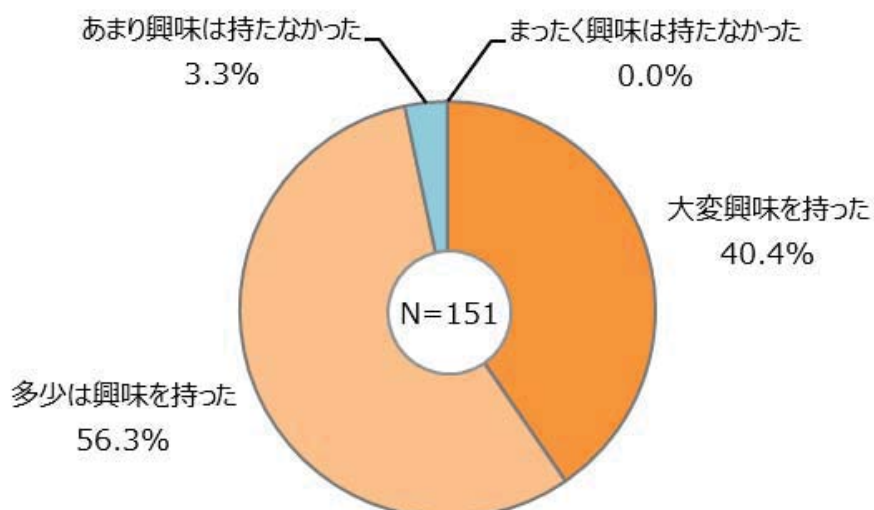
※記述回答のあった 125 件の内容について分析

7 北方領土問題啓発活動を通じての北方領土問題への関心喚起

今回のような北方領土問題啓発活動を通じて、北方領土問題に「大変興味を持った」人は40.4%で、「多少は興味を持った」人は56.3%。興味を持った人は、全体の9割以上(96.7%)にのぼる。

- ・ 男女で比較すると、「大変興味を持った」の回答が男性60.9%、女性31.4%と差が見られた。
- ・ 年代で比較すると、20代、70代以上で、「大変興味を持った」の回答が6割を超えていた。一方、40代では28.0%と低い結果となった。

Q7. あなたは、今回のような北方領土問題を啓発する活動を通じて、「北方領土問題」について、どの程度、興味を持ちましたか？（○は一つだけ）



《詳細結果》

■ 「大變興味を持った」性別比較

男性：60.9%/女性：31.4%

■ 「大變興味を持った」年代比較

20代：61.5%/30代：39.1%/40代：28.0%/50代：36.4%/60代：43.3%/70代以上：69.2%

## 第8回大鍋まつり ～下野の国から元気を！～

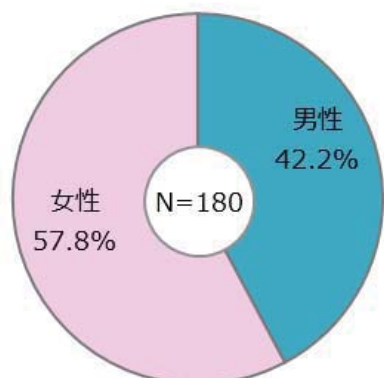
(道の駅うつのみや ろまんちっく村〔栃木県宇都宮市新里町丙 254〕)

### (1) 調査概要

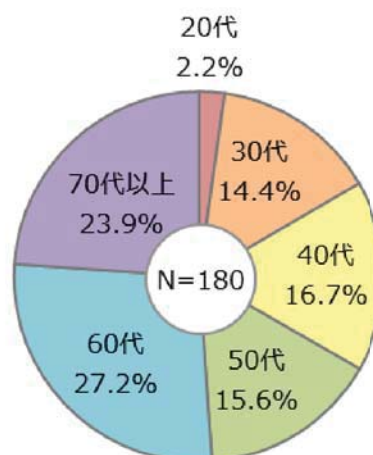
- **調査対象者**   パイロット事業の来場者（プログラム参加者）
- **実施日時**     2017年3月5日（日） 10:00～16:00
- **調査手法**     専門調査員によるアンケート調査
  - ・ 対象者の自記入式回答法
  - ・ 北方領土ブースを出てきた人を対象に声掛けを行った
- **回収数**       180 サンプル
- **調査項目**
  - ・ これまでの北方領土問題認知・理解状況（来場・参加前）
  - ・ パイロット事業の展開プログラムのなかで参加（接触）したプログラム
  - ・ 参加プログラム（個別）に対する印象・感想
  - ・ 参加プログラムの拡散意向
  - ・ パイロット事業（参加プログラム全体）の取り組みに対する評価
  - ・ 北方領土問題のなかで興味・関心を持った内容
  - ・ 北方領土問題に対する関心度
  - ・ プロフィール（性別・年代・居住地）
  - ・ ラジオ CM 認知度

対象者属性

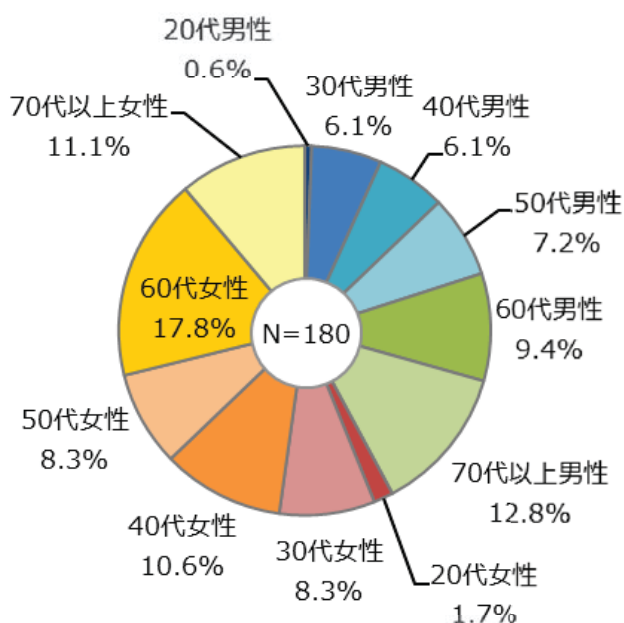
性別



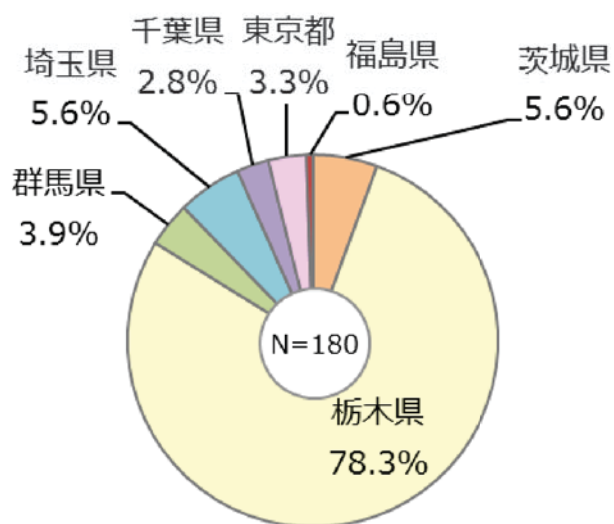
年代別



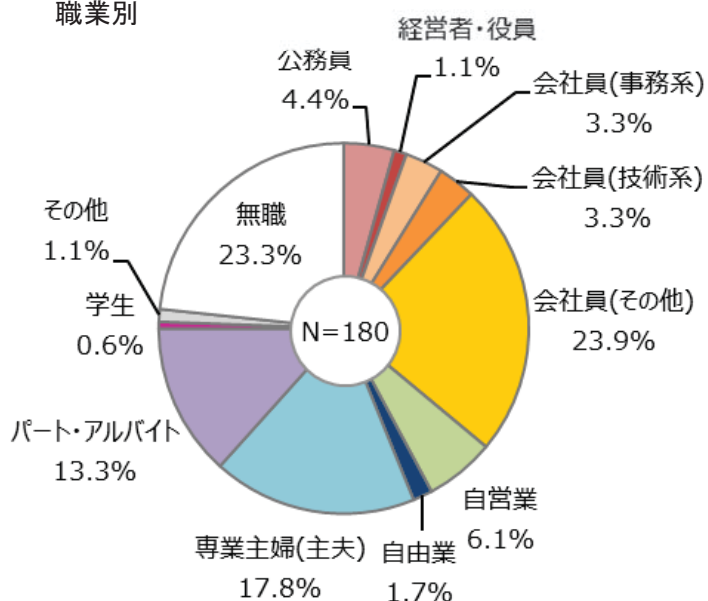
性×年代別



地域別



職業別



(2) 調査結果

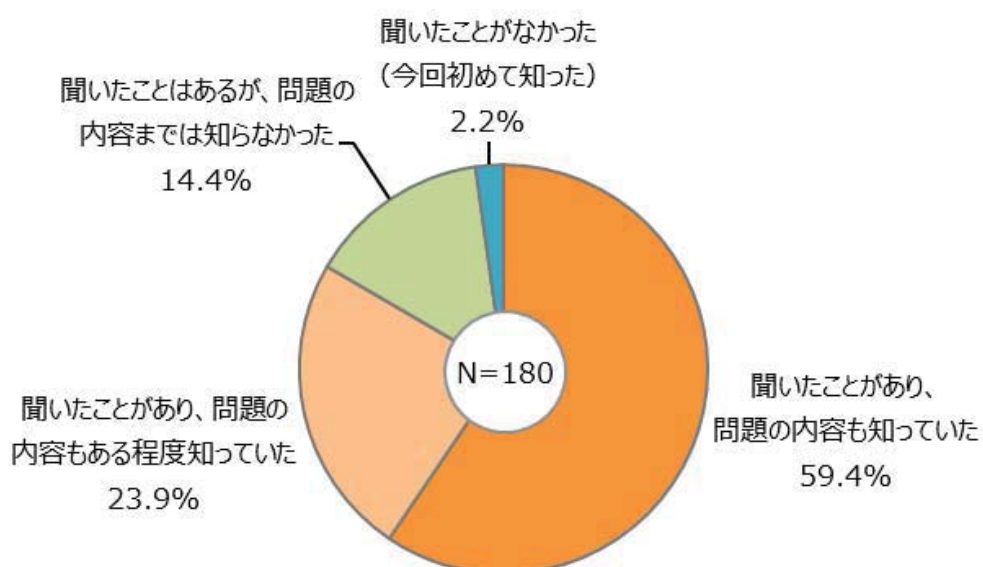
1 北方領土問題が存在することの認知

北方領土問題について、「聞いたことがあり、問題の内容も知っていた」と回答した人は59.4%、「聞いたことがあり、問題の内容もある程度知っていた」と回答した人は23.9%で、8割以上(83.3%)が認知していた。

- ・ 男女別で比較すると、女性よりも男性の方で、認知が進んでいた。

Q1. 本日、「北方領土情報ブース」に立ち寄る前のことをお聞きします。

あなたは、日本とロシアの間に「北方領土問題」があることをご存じでしたか。(○は一つだけ)



《詳細結果》

■ 「聞いたことがあり、問題の内容も知っていた」性別比較  
 男性：80.3%/女性：44.2%

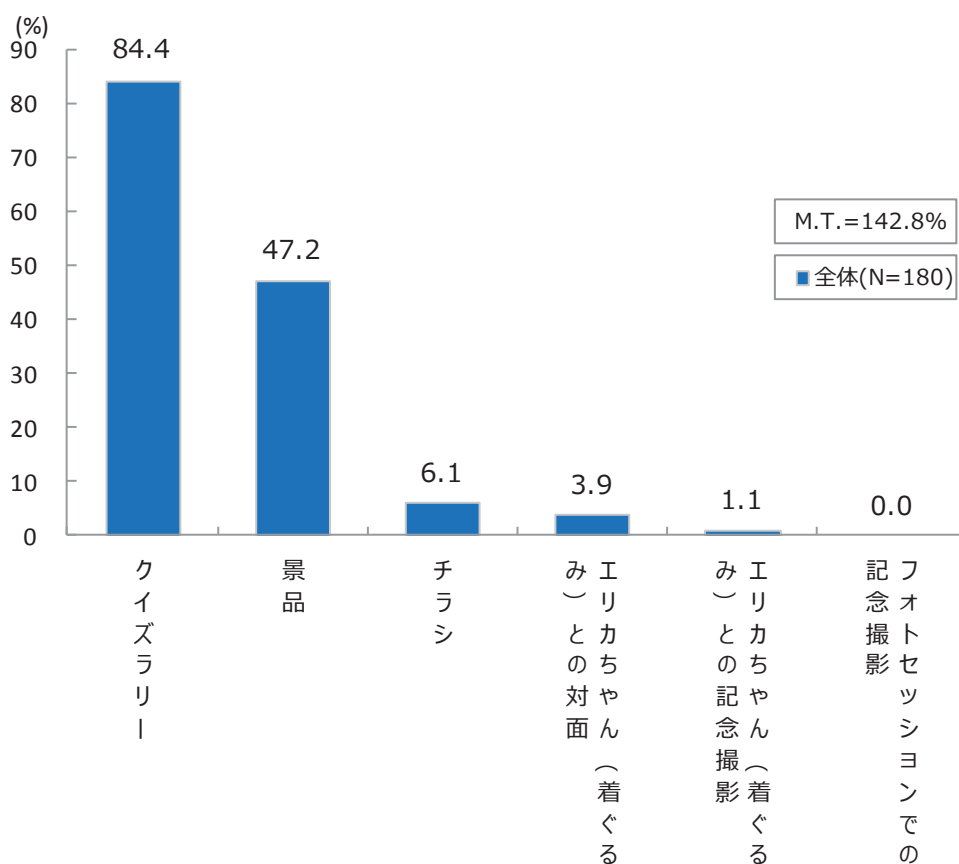
2 「北方領土情報ブース」で参加・接触したもの

「北方領土情報ブース」で参加・接触状況をみると、「クイズラリー」との接触が84.4%と目立っており、次いで「景品」(47.2%)、「チラシ」(6.1%)となっている。エリカちゃんとの接触は数値が低く、フォトセッションでの記念撮影は0%という結果だった。

- ・ 年代別で比較すると、男女ともに20・30代は、「景品」への接触率が高くなっている。

Q2. 本日、「北方領土情報ブース」であなたが、参加・接触したものをお答えください。

(〇はいくつでも)



《詳細結果》

■ 「『景品』への接触率」年代別比較

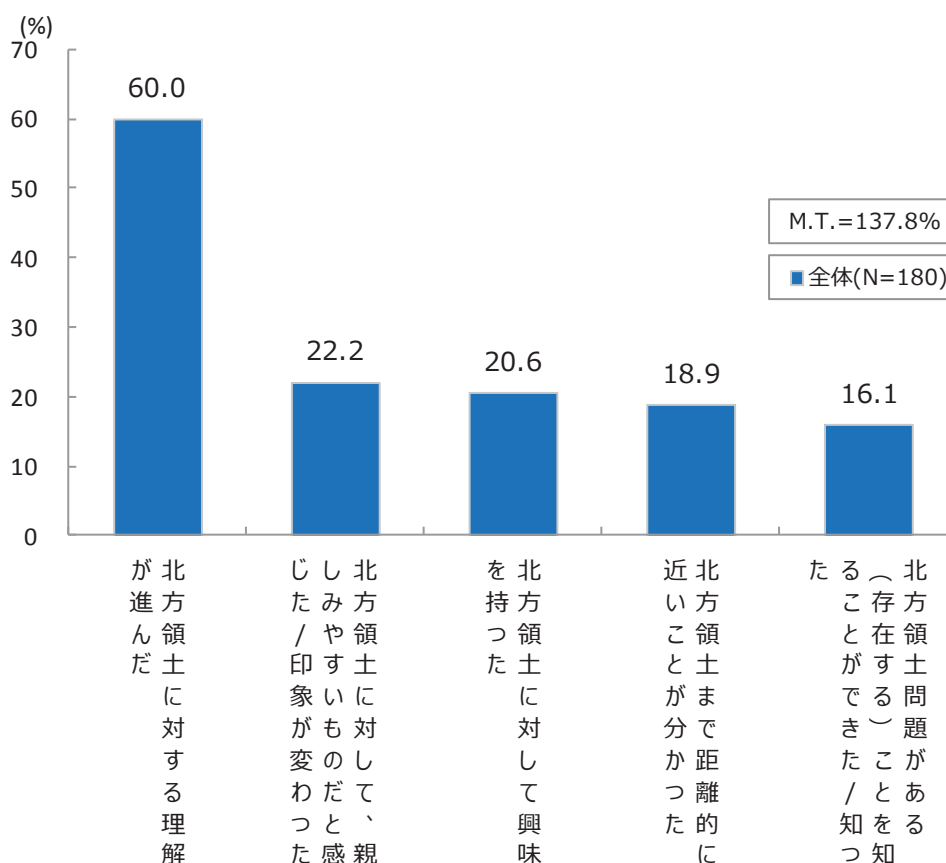
20・30代 : 73.3%/40代 : 56.7%/50代 : 50.0%/60代 : 40.8%/70代以上 : 27.9%

3 「北方領土情報ブース」に参加した印象

「北方領土情報ブース」に参加した印象では、「北方領土に対する理解が進んだ」(60.0%)との回答が目立っている。次いで「北方領土に対して、親しみやすいものだと感じた/印象が変わった」(22.2%)、「北方領土に対して興味を持った」(20.6%)となっている。

- ・ 性別で見ると、女性よりも男性の方で、「北方領土に対する理解が進んだ」の数値が高い。
- ・ 「北方領土問題に対して興味を持った」の項目については、性・年代別に見ると、70代以上女性で数値が高かった。

Q3. 「北方領土情報ブース」であなたが、参加・接触したものに対する印象、感想をお答えください。  
(〇はいくつでも)



《詳細結果》

■ 「北方領土に対する理解が進んだ」性別比較

男性：72.4%/女性：51.0%

■ 「北方領土問題に対して興味を持った」性・年代比較

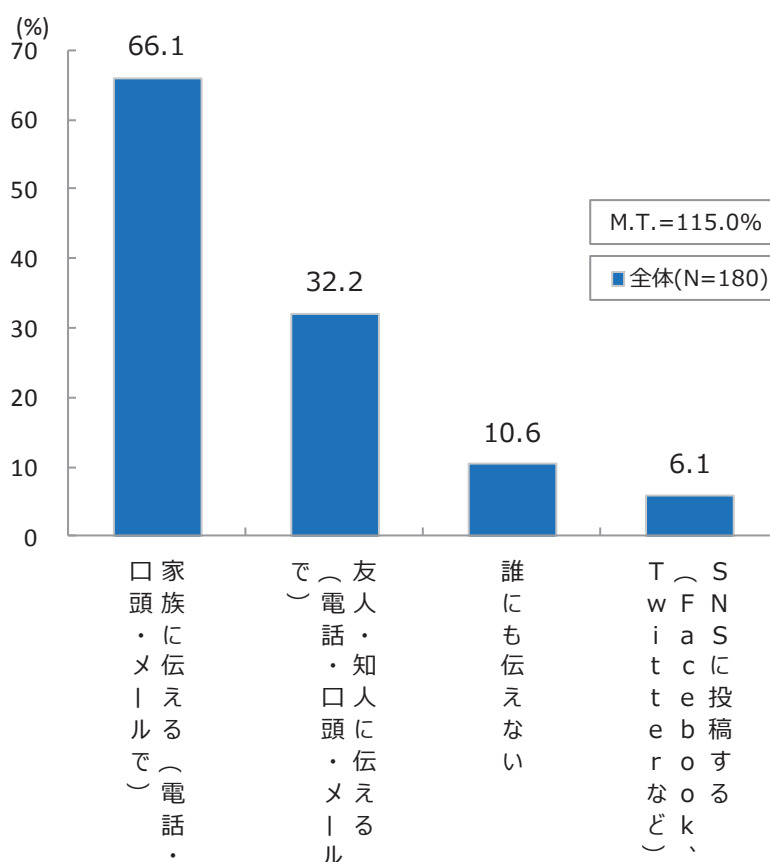
全体平均：20.6%/70代以上女性：40.0%

4 「北方領土情報ブース」の内容の拡散意向

「北方領土情報ブース」の内容の拡散意向では、「家族に伝える（電話・口頭・メールで）」と回答した人が66.1%と最も高く、次いで「友人・知人に伝える（電話・口頭・メールで）」(32.2%)、「誰にも伝えない」(10.6%)となっている。「SNSに投稿する（Facebook、Twitterなど）」は6.1%と低い結果となった。

- ・ 「友人・知人に伝える（電話・口頭・メールで）」、「SNSに投稿する（電話・口頭・メールで）」では40代男性が、「誰にも伝えない」では30代女性が、他層に比べて高い結果だった。

Q4. 「北方領土情報ブース」での取り組み内容や「北方領土情報ブース」で撮影した画像などを今後、ご家族・友人や知り合いの方々に伝えたいと思いますか？（○はい/□いいえ/△どちらでもない）



《詳細結果》

■ 「友人・知人に伝える（電話・口頭・メールで）」性・年代比較

全体平均：32.2%/40代男性：72.7%

■ 「SNSに投稿する（Facebook、Twitterなど）」性・年代比較

全体平均：6.1%/40代男性：27.3%

■ 「誰にも伝えない」性・年代比較

全体平均：10.6%/30代女性：33.3%



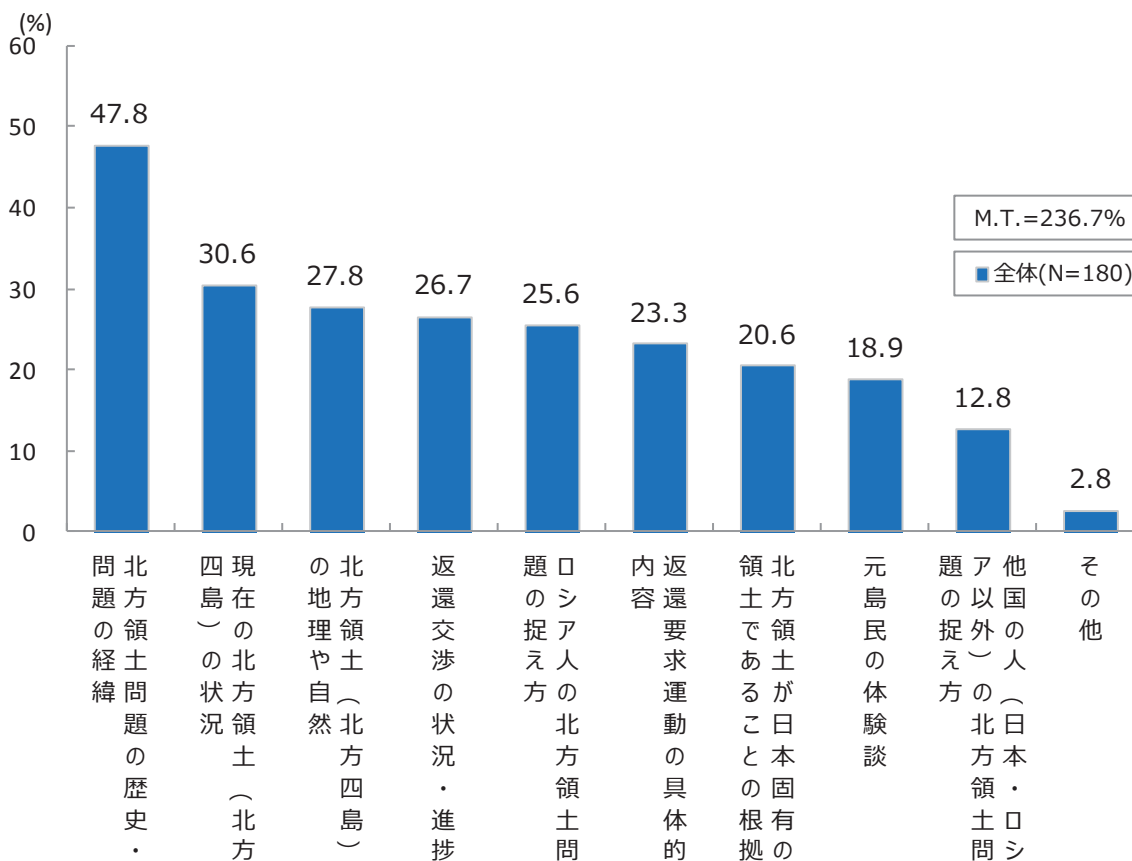
5 北方領土問題の関心内容

北方領土問題の関心内容についてみると、「北方領土問題の歴史・問題の経緯」(47.8%)に対する関心が特に高くなっている。次いで、「現在の北方領土(北方四島)の状況」(30.6%)、「北方領土(北方四島)の地理や自然」(27.8%)への関心が高い。

- ・ 「北方領土の歴史・問題の経緯」については、30~40代女性の関心が他層と比較し数値が高かった。
- ・ 性・年代別にみると、40代男性で「ロシア人の北方領土問題の捉え方」や「返還要求運動の具体的内容」について、他層と比較し数値が高かった。

Q5. あなたは、北方領土問題について、更にどのような内容を知りたいと思いましたか。

(〇はいくつでも)



《詳細結果》

■ 「北方領土の歴史・問題の経緯」性・年代比較

全体平均：47.8%/30代女性：66.7%/40代女性：57.9%

■ 「ロシア人の北方領土問題の捉え方」性・年代比較

全体平均：25.6%/40代男性：72.7%

■ 「返還要求運動の具体的内容」性・年代比較

全体平均：23.3%/40代男性：54.5%

6 パイロット事業（参加プログラム全体）の取り組みに対する評価

「早く返還してほしい」という「北方領土に対する思い」が最も多く、特に60代以上の世代から多く挙げられていた。また、パイロット事業の取り組みに対して、「勉強になった、知ることが出来てよかった」という感想も多かった。

Q6. あなたが今回、「北方領土情報ブース」に接して、どのような印象・感想を持ちましたか。

（ご自由にお書きください）

(件)

	N	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
全体	119	3	20	23	14	33	26
早く返還してほしい	29	0	2	3	3	12	9
勉強になった、知ることが出来てよかった	17	1	5	3	0	5	3
早く解決してほしい	8	0	0	2	0	2	4
大変だと思った、難しい問題だと思った、わからない	8	0	0	3	1	0	4
興味を持った	5	0	0	0	0	5	0
クイズが良かった	5	1	1	1	2	0	0
問題についてもっと知りたい	4	0	1	3	0	0	0
70年近く未解決であることに対する不満	4	0	1	0	1	1	1
楽しかった、良かった、ためになった	4	0	1	1	1	1	0
良い運動だと思った	3	0	0	2	1	0	0
もっとこのような活動をして欲しい	3	0	1	0	0	1	1
北方領土について	3	0	1	1	1	0	0
北方領土（問題）が身近に感じられた	2	0	0	0	1	1	0
エリカちゃんが可愛かった	2	1	1	0	0	0	0
北方領土問題についてもっとアピールすべきだと思った	2	0	0	0	0	1	1
こんなところで北方領土問題のことをやっているとは思わなかった	2	0	0	1	0	1	0
展示内容についての改善案	2	0	0	2	0	0	0
エリカちゃんへの感想	2	0	2	0	0	0	0
景品への感想	2	0	1	0	1	0	0
北方領土（問題）について意外と知らない自分に気付いた	1	0	0	0	1	0	0
参加しやすかった	1	0	0	0	1	0	0
その他	10	0	3	1	0	3	3

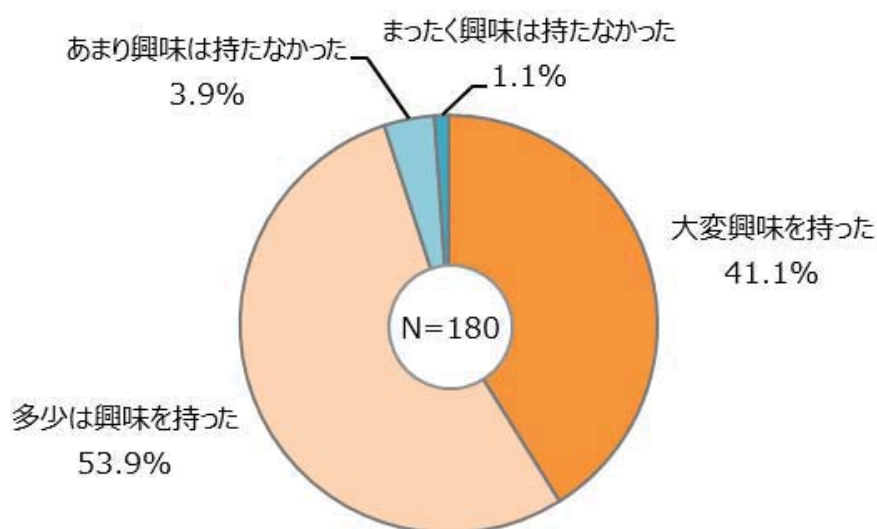
※記述回答のあった119件の内容について分析

7 北方領土問題への興味度

今回のような北方領土問題啓発活動を通じて、北方領土問題に「大変興味を持った」人は41.4%で、「多少は興味を持った」人は53.9%。興味を持った人は、全体の9割以上（95.0%）にのぼる。

- ・ 男女で比較すると、「大変興味を持った」の回答が男性56.6%、女性29.8%と差が見られた。
- ・ 年代で比較すると、「大変興味を持った」の回答が、40代、60代、70代以上で5割程度である一方、20・30代、50代では2～3割程度と低い結果となった。

Q7. あなたは、今回のような北方領土問題を啓発する活動を通じて、「北方領土問題」について、どの程度、興味を持ちましたか？（○は一つだけ）



《詳細結果》

■ 「大変興味を持った」性別比較

男性：56.6%：女性：29.8%

■ 「大変興味を持った」年代比較

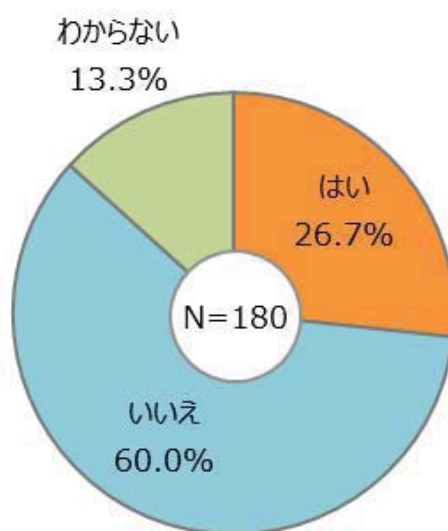
20・30代：20.0%/40代：50.0%/50代：32.1%/60代：46.9%/70代以上：48.8%

8 ラジオ CM 認知度

「北方領土情報ブース」出展のラジオ CM の認知度については、「認知していた」割合が 26.7%、「認知していなかった」割合が 60%という結果であった。

- ・ 男女で大きな違いは見られなかった。
- ・ 世代が上がるにつれて認知度は高くなり、70 代以上では約 5 割が「ラジオ CM を聞いた」と回答した。

Q8. あなたは大鍋まつりで「北方領土情報ブース」が出展されることをラジオ CM で聞きましたか？



《詳細結果》

■ 「ラジオ CM で『北方領土情報ブース』の出展情報を聞いた」性別比較

男性：25.0%：女性：27.9%

■ 「ラジオ CM で『北方領土情報ブース』の出展情報を聞いた」年代比較

20・30代：10.0%/40代：10.0%/50代：17.9%/60代：32.7%/70代以上：48.8%